

市 立 病 院 事 業 会 計 予 算 説 明 書

令和4年度富士吉田市立病院事業会計予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出
収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病 院 事 業 収 益			8,747,858	
	1 医 業 収 益		7,409,614	
		1 入 院 収 益	4,517,668	入院患者診療収益
		2 外 来 収 益	2,308,632	外来患者診療収益
		3 そ の 他 医 業 収 益	469,988	特別室料・健康診断料他
		4 他 会 計 負 担 金	113,326	救急医療費負担金他

款	項	目	予 定 額	備 考
	2 医 業 外 収 益		1, 201, 340	
		1 受 取 利 息 配 当 金	0	
		2 他 会 計 補 助 金	100, 087	研究研修費・院内保育所運営費 法定福利費追加費用 児童手当負担分 他
		3 国 県 補 助 金	300, 000	
		4 他 会 計 負 担 金	380, 066	高度医療負担金・企業債利息 電子カルテ負担金・感染症関連負担金 他
		5 長 期 前 受 金 戻 入	314, 663	減価償却に伴う長期前受金の収益化
		6 資 本 費 繰 入 収 益	53, 607	電子カルテリース債務償還に伴う繰入金の収益化
		7 雑 収 益	5, 606	電子カルテ繰入金消費税分
		8 そ の 他 医 業 外 収 益	47, 311	職員駐車場使用料・院内保育料他
	3 特 別 利 益		136, 904	
		1 過 年 度 損 益 修 正 益	1	
		2 長 期 前 受 金 戻 入	136, 903	減価償却に伴う長期前受金（過年度分）の収益化

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病 院 事 業 費 用			8,485,504	
	1 医 業 費 用		8,400,348	
		1 給 与 費	4,468,028	職員給与費・退職金引当金繰入・ 賞与引当金繰入
		2 材 料 費	1,656,906	薬品費・診療材料費他
		3 経 費	1,676,301	光熱水費・賃借料・委託料他
		4 減 価 償 却 費	561,460	
		5 資 産 減 耗 費	10,500	資産の除却・減耗費
		6 研 究 研 修 費	24,695	
		7 長 期 前 払 消 費 税 償 却	2,458	控除対象外消費税額

款	項	目	予 定 額	備 考
	2 医 業 外 費 用		84,155	
		1 支 払 利 息	64,155	企業債利子・リース利息
		2 消 費 税	15,000	
		3 地 方 消 費 税	5,000	
	3 特 別 損 失		1	
		1 過 年 度 損 益 修 正 損	1	
	4 予 備 費		1,000	
		1 予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出
収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			563,463	
	1 企 業 債		281,500	
		1 企 業 債	281,500	2階南面内視鏡室改修等に係る起債
	2 負 担 金		194,211	
		1 他 会 計 負 担 金	194,211	企業債元金償還負担分
	3 補 助 金		87,750	
		1 国 庫 補 助 金	85,000	防衛省交付金
		2 県 補 助 金	2,750	国保調整交付金
	4 固 定 資 産 売 却 代 金		1	
		1 器 械 備 品 売 却 代 金	1	
	5 寄 附 金		1	
		1 寄 附 金	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			989,337	
	1 建 設 改 良 費		658,020	
		1 病 院 改 良 工 事 費	281,531	2階南面内視鏡室等に係る工事費
		2 有 形 固 定 資 産 購 入 費	212,773	
		3 リ ー ス 債 務 償 還 金	163,715	
		4 電 話 架 設 費	1	
	2 企 業 債 償 還 金		291,317	
		1 企 業 債 元 金 償 還 金	291,317	
	3 予 備 費		40,000	
		1 予 備 費	40,000	

令和4年度予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	10
減価償却費	561,460
長期前払消費税償却費	0
固定資産除却費	7,500
退職給付引当金の増減額	110,000
修繕引当金の増減額	0
長期前受金戻入額	△ 314,663
資本費繰入収益	△ 53,607
その他特別利益	△ 136,904
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	64,155
未収金の増減額	100
未払金の増減額	0
貸倒引当金の増減額	△ 50
賞与引当金の増減額	△ 10,740
法定福利費引当金の増減額	△ 1,625
貯蔵品の増減額	3,000
その他	0
小計	228,636
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△ 64,155
業務活動によるキャッシュ・フロー	164,481

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 489,365
有形固定資産の売却による収入	0
国庫補助金等による収入	87,750
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	194,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 207,404</u>

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良企業債による収入	281,500
建設改良企業債の償還による支出	△ 291,317
リース債務償還金支出	△ 149,186
資本費繰入収益	53,607
他会計からの出資による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 105,396</u>

資金増加（減少）額	△ 148,319
資金期首残高	1,514,489
資金期末残高	<u>1,366,170</u>

給 与 費 明 細 書

1 一般職

(1) 総括

(単位：千円)

区 分	職員数	給 与 費				法定福利費	合 計	備 考
		報 酬	給 料	手 当	計			
本 年 度	() 人 415	0	1,466,121	1,753,565	3,219,686	539,724	3,759,410	児童手当 22,670
前 年 度	() 人 426	0	1,546,758	1,522,428	3,069,186	581,081	3,650,267	児童手当 21,360
比 較	() 人 △ 11	0	△ 80,637	231,137	150,500	△ 41,357	109,143	1,310

手当の内 訳	区 分	初任給調整手当	扶養手当	管理職手当	通勤手当	時間外勤務手当	特殊勤務手当	夜間勤務手当	住居手当	寒冷地手当	期末勤勉手当
	本年度	260,286	30,922	8,952	13,658	304,114	512,510	42,224	20,202	20,584	540,113
	前年度	223,549	30,292	7,906	15,366	288,311	326,427	28,439	16,865	20,050	565,223
	比 較	36,737	630	1,046	△ 1,708	15,803	186,083	13,785	3,337	534	△ 25,110

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説 明	備 考
給 料	△ 80,637	昇給に伴う増加分	22,946	昇給職員数 377人 平均昇給率 1.59 %	
		その他の増減分	△ 103,583	新陳代謝等による増減分 職員数の異動状況 (現に在職する職員数) (採用予定) (計) 本年度 392 人 23 人 415 人 前年度 400 人 26 人 426 人 増 減 △ 8 人 △ 3 人 △ 11 人 採用退職(異動) の状況等 (令和3年1月1日～令和3年12月31日) 採用 54 人 退職 44 人	
職員手当	231,137	制度改正に伴う増減分	0		
		その他の増減分	231,137	新陳代謝等による増減分他	

(3) 給料及び職員手当の内訳

ア・職員1人当たり給与

区 分		医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
令和4年1月1日現在	平均給料月額（円）	424,837	267,665	0	259,307	276,135	0
	平均給与月額（円）	1,652,385	448,117	0	429,120	412,383	0
	平均年齢（歳）	42.76	36.98	0	37.16	39.36	0
令和3年1月1日現在	平均給料月額（円）	436,338	299,327	0	277,616	289,567	0
	平均給与月額（円）	1,520,857	403,253	0	374,953	358,116	0
	平均年齢（歳）	42.43	35.91	0	36.34	37.39	0

イ・初任給

区 分	医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職	国 の 制 度					
							医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
高 校 卒	円	円	円 176,700	円	円 150,600	円 150,600	円	円	円 176,700	円	円 150,600	円 150,600
短 大 二 卒		209,800		166,400	163,100			209,800		166,400	163,100	
短 大 三 卒		215,200		177,400				215,200		177,400		
大 学 卒		220,700		188,400	182,200			220,700		188,400	182,200	
大 学 六 卒	259,500			210,500			259,500			210,500		
博 士 課 程 修 了 者	334,100						334,100					

ウ・級別職員数

区 分	医 師 職			看 護 師 職			准 看 護 師 職		
	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
令和4年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{20}$ 人	40.8 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{14}$	28.6 %	2級	$\frac{(\quad)}{55}$	23.6 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{9}$	18.4 %	3級	$\frac{(\quad)}{32}$	13.7 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{5}$	10.2 %	4級	$\frac{(\quad)}{130}$	55.8 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{1}$	2.0 %	5級	$\frac{(\quad)}{13}$	5.6 %			
				6級	$\frac{(\quad)}{3}$	1.3 %			
	計	$\frac{(\quad)}{49}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{233}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
令和3年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{16}$ 人	36.3 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{13}$	29.5 %	2級	$\frac{(\quad)}{43}$	18.3 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{9}$	20.5 %	3級	$\frac{(\quad)}{32}$	13.7 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{5}$	11.4 %	4級	$\frac{(\quad)}{143}$	61.1 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{1}$	2.3 %	5級	$\frac{(\quad)}{13}$	5.6 %			
				6級	$\frac{(\quad)}{3}$	1.3 %			
	計	$\frac{(\quad)}{44}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{234}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %

区 分	医 療 技 術 職			一 般 行 政 職			技 能 労 務 職		
	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
令和4年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{5}$ 人	5.7 %	1級	$\frac{(\quad)}{6}$ 人	16.7 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{30}$	34.1 %	2級	$\frac{(\quad)}{6}$	16.7 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{27}$	30.7 %	3級	$\frac{(\quad)}{9}$	24.9 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{22}$	25.0 %	4級	$\frac{(\quad)}{7}$	19.4 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{3}$	3.4 %	5級	$\frac{(\quad)}{4}$	11.1 %			
	6級	$\frac{(\quad)}{1}$	1.1 %	6級	$\frac{(\quad)}{2}$	5.6 %			
				7級	$\frac{(\quad)}{2}$	5.6 %			
	計	$\frac{(\quad)}{88}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{36}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
令和3年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{5}$ 人	5.7 %	1級	$\frac{(\quad)}{4}$ 人	11.8 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{29}$	33.0 %	2級	$\frac{(\quad)}{6}$	17.6 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{27}$	30.6 %	3級	$\frac{(\quad)}{10}$	29.4 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{24}$	27.3 %	4級	$\frac{(\quad)}{7}$	20.6 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{2}$	2.3 %	5級	$\frac{(\quad)}{4}$	11.8 %			
	6級	$\frac{(\quad)}{1}$	1.1 %	6級	$\frac{(\quad)}{2}$	5.9 %			
				7級	$\frac{(\quad)}{1}$	2.9 %			
	計	$\frac{(\quad)}{88}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{34}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %

(級別の基準となる職務)

区分	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級
医 師 職			院 統 括 副 院 長 院 統 括 副 院 長	副 院 長 診 療 統 括 部 長 診 療 部 長	医 科 部 長	主 任 医 長 主 任 医 長	医 師
看 護 師 職		副 院 長 看 護 部 長 看 護 副 部 長	看 護 師 長	看 護 副 師 長 主 査	主 任	主 事 事 補 主 事 事 補	主 事 事 補
准看護師職					主 任		主 事 事 補
医療技術職		統 括 科 長	科 長	主 幹	主 査	主 任	主 事 事 補 主 事 事 補
一般行政職	部 次 長 長	課 長	課 長 補 佐	主 幹	主 査	主 任	主 事 事 補 主 事 事 補
技能労務職				主 任 職 長	職 長	技 能 主 任	技 能 主 事 補 技 能 主 事 補

エ・昇給

区分		合計	医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
本年度	職員数（Ａ）（人）	406	49	233	0	88	36	0
	昇給に係る職員数（Ｂ）（人）	377	45	212	0	85	35	0
	号級数別内訳	1号給（人）	6	5	0	0	1	0
		2号給（人）	30	3	18	0	6	0
		3号給（人）	34	13	17	0	2	0
		4号給（人）	307	24	177	0	26	0
		5号給（人）	0	0	0	0	0	0
		6号給（人）	0	0	0	0	0	0
		7号給（人）	0	0	0	0	0	0
		8号給（人）	0	0	0	0	0	0
		9号給以上（人）	0	0	0	0	0	0
	比率（Ｂ）／（Ａ）（％）	92.86	91.84	90.99	0.00	96.59	97.22	0.00
前年度	職員数（Ａ）（人）	426	47	253	0	90	36	0
	昇給に係る職員数（Ｂ）（人）	411	45	244	0	86	36	0
	号級数別内訳	1号給（人）	2	0	2	0	0	0
		2号給（人）	31	11	12	0	5	0
		3号給（人）	42	5	19	0	4	0
		4号給（人）	336	29	211	0	27	0
		5号給（人）	0	0	0	0	0	0
		6号給（人）	0	0	0	0	0	0
		7号給（人）	0	0	0	0	0	0
		8号給（人）	0	0	0	0	0	0
		9号給以上（人）	0	0	0	0	0	0
	比率（Ｂ）／（Ａ）（％）	96.48	95.74	96.44	0.00	95.56	100.00	0.00

オ・期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計（月分）	備 考
	6 月（月分）	1 2 月（月分）		
本 年 度	$\frac{(\quad)}{2.150}$	$\frac{(\quad)}{2.150}$	$\frac{(\quad)}{4.30}$	
前 年 度	$\frac{(\quad)}{2.225}$	$\frac{(\quad)}{2.225}$	$\frac{(\quad)}{4.45}$	
国の制度	$\frac{(\quad)}{2.000}$	$\frac{(\quad)}{2.150}$	$\frac{(\quad)}{4.15}$	

カ・定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 （月分）	25年勤続の者 （月分）	35年勤続の者 （月分）	最高限度 （月分）	その他の加算措置等	備 考
支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特別措置（2%～ 20%加算）	
国の制度 （支給率等）	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特別措置（2%～ 45%加算）	

キ・特殊勤務手当

区 分	全職種	代 表 的 な 職 種					
		医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
給料総額に対する比率（％）	12.5	20.3	10.8	0.0	4.8	3.0	0.0
支給対象職員の比率（％） （令和4年1月1日現在）	93.1	100.0	90.6	0.0	94.3	97.2	0.0
代表的な特殊勤務手当の名称	医師手当・宅当直手当・夜間看護手当						

ク・その他の手当

区 分	国の制度との異同
扶 養 手 当	国 と 同 じ
住 居 手 当	〃
通 勤 手 当	〃

債務負担行為に関する調書

事 項	限 度 額 (千円)	令和3年度末までの 支払義務発生（見込）額		令和4年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源内訳
		期 間	金 額 （千円）	期 間	金 額 （千円）	事業収益 （千円）
PBX・録音装置 機器一式賃借料	31,676	平成29年度から 令和3年度まで	15,599	令和4年度から 令和6年度まで	18,082	18,082
新医療情報システム 構築及び運営使用料	1,374,497	令和3年度	95,329	令和4年度から 令和10年度まで	1,404,123	1,404,123

令和3年度富士吉田市立病院事業予定損益計算書(前年度分)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

1 医業収益

(1) 入院収益	4,001,234	
(2) 外来収益	2,194,981	
(3) その他医業収益	433,909	
(4) 他会計負担金	<u>113,326</u>	6,743,450

2 医業費用

(1) 給与費	4,480,078	
(2) 材料費	1,582,524	
(3) 経費	1,427,753	
(4) 減価償却費	568,913	
(5) 資産減耗費	9,291	
(6) 研究研修費	17,004	
(7) 長期前払消費税償却	<u>1,992</u>	<u>8,087,555</u>

医業損失

1,344,105

3 医業外収益

(1) 受取利息配当金	0	
(2) 他会計補助金	70,087	
(3) 国県補助金	733,360	
(4) 他会計負担金	469,488	
(5) 長期前受金戻入益	304,751	
(6) 資本費繰入収益	59,852	
(7) 雑収益	4,893	
(8) その他医業外収益	<u>26,302</u>	1,668,733

4 医業外費用			
(1) 支払利息	64,047		
(2) 雑損失	<u>349,999</u>	<u>414,046</u>	1,254,687
5 予備費			
(1) 予備費		<u>0</u>	<u>0</u>
經常損失			89,418
6 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	1		
(2) 長期前受金戻入益	<u>133,245</u>	133,246	
7 特別損失			
(1) 過年度損益修正損		<u>1</u>	<u>133,245</u>
当年度純利益			43,827
前年度繰越欠損金			<u>1,000,242</u>
当年度未処理欠損金			<u><u>956,415</u></u>

令和3年度富士吉田市立病院事業予定貸借対照表（前年度分）

（令和4年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固定資産

（1）有形固定資産

イ 土地		1, 825, 654, 723	
ロ 建物	10, 451, 696, 491		
減価償却累計額	<u>6, 775, 362, 975</u>	3, 676, 333, 516	
ハ 構築物	436, 498, 987		
減価償却累計額	<u>312, 903, 795</u>	123, 595, 192	
ニ 器械備品	4, 832, 914, 793		
減価償却累計額	<u>3, 706, 940, 505</u>	1, 125, 974, 288	
ホ 車両	36, 648, 209		
減価償却累計額	<u>19, 418, 101</u>	17, 230, 108	
ヘ リース資産	1, 859, 480, 900		
減価償却累計額	<u>1, 073, 705, 042</u>	785, 775, 858	
ト 建設仮勘定		<u>112, 520, 000</u>	
有形固定資産合計			7, 667, 083, 685

（2）無形固定資産

イ 電話加入権		<u>2, 763, 900</u>	
無形固定資産合計			<u>2, 763, 900</u>

（3）投資その他の資産

イ 長期前払消費税		<u>0</u>	<u>0</u>
-----------	--	----------	----------

固定資産合計

7, 669, 847, 585

2 流動資産

(1) 現金預金		1, 514, 489, 296	
(2) 未収金			
イ 医業未収金	1, 109, 100, 000		
ロ 医業外未収金	<u>11, 200, 000</u>		
未収金合計		1, 120, 300, 000	
(3) 貸倒引当金		△ 12, 721, 860	
(4) 貯蔵品			
イ 薬品	84, 453, 553		
ロ 診療材料	7, 616, 989		
ハ 給食材料	0		
ニ 燃料	0		
ホ その他貯蔵品	<u>3, 874, 846</u>		
貯蔵品合計		<u>95, 945, 388</u>	
流動資産合計			2, 718, 012, 824
資産合計			<u>10, 387, 860, 409</u>

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

2,796,890,459

2,796,890,459

(2) リース債務

628,689,631

(3) 引当金

イ 退職給付引当金
引当金合計
固定負債合計

1,340,348,780

1,340,348,780

4,765,928,870

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

291,316,838

291,316,838

(2) リース債務

129,040,444

(3) 未払金

イ 医業未払金
ロ 医業外未払金
未払金合計

400,000,000

20,000,000

420,000,000

(4) 前受金			
イ 医業前受金	12,000,000		
ロ 医業外前受金	<u>0</u>		
前受金合計		12,000,000	
(5) 引当金			
イ 退職給付引当金	0		
ロ 賞与引当金	183,902,000		
ハ 法定福利費引当金	33,822,000		
ニ 修繕引当金	<u>7,822,041</u>		
引当金合計		<u>225,546,041</u>	
流動負債合計			<u>1,077,903,323</u>
5 繰延収益			
(1) 長期前受金	10,332,616,966		
長期前受金収益化累計額	<u>8,025,427,997</u>	2,307,188,969	
繰延収益合計			<u>2,307,188,969</u>
負債合計			8,151,021,162

資 本 の 部

6 資本金

(1) 資本金

イ 固有資本金	30,437,195	
ロ 出資金	2,423,510,425	
ハ 組入資本金	<u>694,324,227</u>	
資本金合計		3,148,271,847

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 再評価積立金	0	
ロ 補助金	0	
ハ 受贈財産評価額	0	
ニ 寄附金	0	
ホ その他資本剰余金	<u>0</u>	
資本剰余金合計		0

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金	44,984,125	
ロ 利益積立金	0	
ハ その他積立金	0	
ニ 当年度未処理欠損金	<u>956,416,725</u>	
欠損金合計		911,432,600
資本合計		<u>2,236,839,247</u>

負債・資本合計 10,387,860,409

令和4年度富士吉田市立病院事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和5年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		1, 825, 654, 723	
ロ 建物	10, 487, 632, 855		
減価償却累計額	<u>6, 950, 106, 975</u>	3, 537, 525, 880	
ハ 構築物	436, 498, 987		
減価償却累計額	<u>319, 945, 795</u>	116, 553, 192	
ニ 器械備品	5, 058, 843, 884		
減価償却累計額	<u>3, 949, 292, 505</u>	1, 109, 551, 379	
ホ 車両	36, 648, 209		
減価償却累計額	<u>22, 287, 101</u>	14, 361, 108	
ヘ リース資産	1, 888, 042, 718		
減価償却累計額	<u>1, 208, 158, 042</u>	679, 884, 676	
ト 建設仮勘定		<u>332, 520, 000</u>	
有形固定資産合計			7, 616, 050, 958

(2) 無形固定資産

イ 電話加入権		<u>2, 763, 900</u>	
無形固定資産合計			<u>2, 763, 900</u>

(3) 投資その他の資産

イ 長期前払消費税		<u>0</u>	<u>0</u>
-----------	--	----------	----------

固定資産合計

7, 618, 814, 858

2 流動資産

(1) 現金預金		1,366,170,102	
(2) 未収金			
イ 医業未収金	1,109,000,000		
ロ 医業外未収金	<u>11,200,000</u>		
未収金合計		1,120,200,000	
(3) 貸倒引当金		△ 12,671,860	
(4) 貯蔵品			
イ 薬品	81,453,553		
ロ 診療材料	7,616,989		
ハ 給食材料	0		
ニ 燃料	0		
ホ その他貯蔵品	<u>3,874,846</u>		
貯蔵品合計		<u>92,945,388</u>	
流動資産合計			2,566,643,630
資産合計			<u>10,185,458,488</u>

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

2,770,915,401

2,770,915,401

(2) リース債務

514,395,629

(3) 引当金

イ 退職給付引当金
引当金合計
固定負債合計

1,450,348,780

1,450,348,780

4,735,659,810

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

307,475,058

307,475,058

(2) リース債務

122,710,450

(3) 未払金

イ 医業未払金
ロ 医業外未払金
未払金合計

400,000,000

20,000,000

420,000,000

(4) 前受金			
イ	医業前受金	12, 000, 000	
ロ	医業外前受金	<u>0</u>	
	前受金合計		12, 000, 000
(5) 引当金			
イ	退職給付引当金	0	
ロ	賞与引当金	173, 161, 953	
ハ	法定福利費引当金	32, 196, 164	
ニ	修繕引当金	<u>7, 822, 041</u>	
	引当金合計		<u>213, 180, 158</u>
	流動負債合計		<u>1, 075, 365, 666</u>
5 繰延収益			
(1)	長期前受金	10, 614, 577, 966	
	長期前受金収益化累計額	<u>8, 476, 994, 201</u>	2, 137, 583, 765
	繰延収益合計		<u>2, 137, 583, 765</u>
	負債合計		7, 948, 609, 241

資 本 の 部

6 資本金

(1) 資本金

イ 固有資本金	30,437,195	
ロ 出資金	2,423,510,425	
ハ 組入資本金	<u>694,324,227</u>	
資本金合計		3,148,271,847

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 再評価積立金	0	
ロ 補助金	0	
ハ 受贈財産評価額	0	
ニ 寄附金	0	
ホ その他資本剰余金	<u>0</u>	
資本剰余金合計		0

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金	44,984,125	
ロ 利益積立金	0	
ハ その他積立金	0	
ニ 当年度未処理欠損金	<u>956,406,725</u>	
欠損金合計		911,422,600
資本合計		<u>2,236,849,247</u>

負債・資本合計 10,185,458,488

注記事項

I 重要な会計方針

平成２６年度より、地方公営企業法施行令等の一部を改正する政令（平成２４年政令第２０号）及び地方公営企業法施行規則等の一部を改正する省令（平成２４年総務省令第６号）によって、改正後の地方公営企業法施行令（昭和２７年政令第４０３号）及び地方公営企業法施行規則（昭和２７年総理府令第７３号）に基づく地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

１ 資産の評価基準及び評価方法（減損会計に係るものを除く。）

（１） たな卸資産の評価基準及び評価方法

イ 薬品	先入先出法に基づく原価法
ロ 診療材料	同上
ハ 給食材料	同上
ニ 燃料	同上
ホ その他貯蔵品	同上

２ 固定資産の減価償却の方法

（１） 有形固定資産（リース資産を除く。）

イ 減価償却の方法	定額法
ロ 主な耐用年数	
建物	６～３９年
構築物	８～５０年
器械備品	２～２０年
車両	４～ ６年

(2) リース資産

イ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

ロ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率（回収不能率）により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等は、当年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、20年間で均等償却を行っている。

Ⅱ 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

重要な非資金取引

令和4年度、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ10,380,000円である。

Ⅲ 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

令和3年度予定貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は1,994,371,531円である。

令和4年度予定貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は1,940,910,306円である。

2 引当金の取崩し

（1）退職給付引当金の取崩し

令和3年度において、退職手当として204,387,000円を支給するため、退職給付引当金204,387,000円を取り崩す。

令和4年度において、退職手当として219,382,000円を支給するため、退職給付引当金219,382,000円を取り崩す。

（2）賞与引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当として275,852,348円を支給するため、賞与引当金183,901,565円を取り崩す。

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当として259,742,929円を支給するため、賞与引当金173,161,953円を取り崩す。

（3）法定福利費引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として50,732,671円を支出するため、法定福利費引当金33,821,781円を取り崩す。

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として48,294,245円を支出するため、法定福利費引当金32,196,164円を取り崩す。

IV リース契約により使用する固定資産

1 ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。なお、リース期間が1年以内の所有権移転ファイナンス・リース取引及びリース料総額が300万円以下又はリース期間が1年以内の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

令和3年度

貸借対照表日後1年以内のリース期間に係る未経過リース料	125,013,660円
貸借対照表日後1年を超えるリース期間に係る未経過リース料	635,799,430円

令和4年度

貸借対照表日後1年以内のリース期間に係る未経過リース料	123,790,960円
貸借対照表日後1年を超えるリース期間に係る未経過リース料	520,907,670円

V 重要な後発事象

該当なし。

VI その他の注記

新会計基準移行に係る経過措置

(1) 退職給付引当金に関する経過措置

会計基準変更時差異（1,165,605,000円）については、平成26年度から職員の退職までの平均残余勤務年数（15年）にわたり、均等額を費用処理している。

(2) 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

(3) リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

水道事業会計予算説明書

令和4年度富士吉田市水道事業会計予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水 道 事 業 収 益			779,047	
	1 営 業 収 益		595,996	
		1 給 水 収 益	567,586	
		2 その他営業収益	28,410	
	2 営 業 外 収 益		183,050	
		1 受 取 利 息	10	
		2 他 会 計 補 助 金	3,967	
		3 長期前受金戻入	179,000	
		4 雑 収 益	73	
	3 特 別 利 益		1	
		1 固定資産売却益	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水 道 事 業 費 用			749,190	
	1 営 業 費 用		681,513	
		1 原水及び浄水費	113,212	原水の取り入れ及び浄水に要する費用
		2 配水及び給水費	61,140	配水及び給水施設等の維持管理及び作業に要する費用
		3 受 託 工 事 費	9,302	受託工事に要する費用
		4 総 係 費	80,707	料金調定集金その他事務及び事業活動全般に要する費用
		5 減 価 償 却 費	402,000	固定資産の減価償却費
		6 資 産 減 耗 費	15,150	資産の除却・減耗に要する費用
		7 その他営業費用	2	上記以外の営業費用

	2 営 業 外 費 用		66,676	
		1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	47,789	企業債利子及び取扱手数料
		2 消 費 税	17,974	
		3 雑 支 出	913	営業外の雑支出
	3 特 別 損 失		1	
		1 固 定 資 産 売 却 損	1	
	4 予 備 費		1,000	
		1 予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			878,894	
	1 企 業 債		185,000	
		1 企 業 債	185,000	
	2 負 担 金		236,683	
		1 工 事 負 担 金	236,683	
	3 補 助 金		448,178	
		1 国 庫 補 助 金	448,178	
	4 出 資 金		9,032	
		1 出 資 金	9,032	簡易水道統合による企業債元金償還の出資金
	5 固定資産売却代金		1	
		1 固定資産売却代金	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			1, 199, 902	
	1 建 設 改 良 費		1, 021, 773	
		1 施 設 整 備 及 び 改 良 費	1, 021, 015	原水配水設備の拡張及び改良工事等に要する費用
		2 営 業 設 備 費	758	量水器購入等に要する費用
	2 企 業 債 償 還 金		173, 129	
		1 企 業 債 償 還 金	173, 129	企業債の元金償還金
	3 予 備 費		5, 000	
		1 予 備 費	5, 000	

令和４年度富士吉田市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和４年４月１日から令和５年３月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	11,137
	減価償却費	402,000
	固定資産除却費	15,000
	引当金の増減額（△は減少）	△ 380
	長期前受金戻入額	△ 179,000
	受取利息	△ 10
	支払利息	47,282
	未収金の増減額（△は増加）	△ 277,934
	貯蔵品の増減額（△は増加）	150
	未払金の増減額（△は減少）	90,132
	その他流動負債の増減額（△は減少）	0
	小計	108,377
	利息の受取額	10
	利息の支払額	△ 47,282
	業務活動によるキャッシュ・フロー	61,105
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	固定資産の取得による支出	△ 937,734
	工事負担金による収入	215,199
	国庫補助金による収入	407,435
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 315,100
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	185,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 173,128
	他会計からの出資による収入	9,032
	財務活動によるキャッシュ・フロー	20,904
	資金増加額（又は減少額）	△ 233,091
	資金期首残高	336,603
	資金期末残高	103,512

給 与 費 明 細 書

1 総 括

単位：千円

区分	職員数 (人)	給 与 費				法定福利費	合 計
		報 酬	給 料	手 当 等	計		
本年度	11	0	50,100	37,418	87,518	18,087	105,605
前年度	11	0	46,385	37,009	83,394	15,466	98,860
比較	0	0	3,715	409	4,124	2,621	6,745

単位：千円

手当等の内訳	区分	扶養手当	管理職手当	通勤手当	時間外勤務手当	住居手当	期末勤勉手当	休日勤務手当	寒冷地手当	退職手当	児童手当
	本年度	2,346	748	246	4,320	1,008	20,815	193	873	5,829	1,040
	前年度	2,064	748	433	3,468	930	19,153	193	835	8,345	840
	比較	282	0	△ 187	852	78	1,662	0	38	△ 2,516	200

2 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増減額	増 減 事 由 別 内 訳		説 明	備 考
給 料	千円 3,715	1 昇給に伴う増減分	千円 120	平均昇給率 1.30% 昇給職員数 11人(うち増額となった職員数 11人)	
		2 その他の増減分	新陳代謝等による増減分 3,595	新陳代謝等 職員数の異動状況 (現に在職する職員数) (その他) (計) 本年度 11 人 0 人 11 人 前年度 11 人 0 人 11 人 増 減 0 人 0 人 0 人	
職員手当	409	1 その他の増減分	409	新陳代謝等	

3 給料及び職員手当の状況

(1) 職員 1 人当たりの給与

区 分		事 務 技 術 職	技 能 労 務 職
令和 4 年 1 月 1 日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	306,675	337,300
	平 均 給 与 月 額 (円)	352,915	349,500
	平 均 年 齢 (歳)	43.00	57.00
令和 3 年 1 月 1 日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	299,078	－
	平 均 給 与 月 額 (円)	364,436	－
	平 均 年 齢 (歳)	41.89	－

(2) 初 任 給

区 分	事 務 技 術 職 (円)	技 能 労 務 職 (円)	一 般 会 計 の 制 度	
			一 般 行 政 職 (円)	技 能 労 務 職 (円)
高 校 卒	150,600	150,600	150,600	150,600
大 学 卒	182,200	－	182,200	－

(3) 級 別 職 員 数

区 分	事 務 技 術 職			技 能 労 務 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
令和4年1月1日現在	7 級		0.0	7 級		0.0
	6 級	1	12.5	6 級		0.0
	5 級	1	12.5	5 級		0.0
	4 級	2	25.0	4 級		0.0
	3 級	4	50.0	3 級	1	100.0
	2 級		0.0	2 級		0.0
	1 級		0.0	1 級		0.0
	計	8	100.0	計	1	100.0
令和3年1月1日現在	7 級		0.0	7 級		0.0
	6 級	1	11.1	6 級		0.0
	5 級	1	11.1	5 級		0.0
	4 級	2	22.2	4 級		0.0
	3 級	4	44.5	3 級		0.0
	2 級		0.0	2 級		0.0
	1 級	1	11.1	1 級		0.0
	計	9	100.0	計	0	0.0

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級	3 級	2 級	1 級
事務技術職	部 次 長 長	課 長	課 長 補 佐	主 幹	主 査	主 任	主 事 補
技能労務職				主任職長	職 長		

(4) 昇 給

区 分		合 計	事務技術職	技能労務職
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	11	10	1
	昇 給 に 係 る 職 員 数 (B) (人)	11	10	1
	号 給 数 別 内 訳	2 号 給 (人)	1	1
		4 号 給 (人)	9	0
	比 率 (B)／(A) (%)	100.00	100.00	100.00
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	11	11	0
	昇 給 に 係 る 職 員 数 (B) (人)	11	11	0
	号 給 数 別 内 訳	2 号 給 (人)	2	0
		4 号 給 (人)	9	0
	比 率 (B)／(A) (%)	100.00	100.00	0.00

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計 (月分)	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)		
本 年 度	2.150	2.150	4.300	
前 年 度	2.225	2.225	4.450	
一般会計の制度	2.150	2.150	4.300	

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最 高 限 度 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	

(7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	
扶 養 手 当	同	じ
住 居 手 当	同	じ
通 勤 手 当	同	じ

継続費に関する調書

款	項	事業名	全 体 計 画						前年度末までの 支払義務発生額	前年度末までの 支払義務発生(見込) 額	当該年度 支払義務発生 予定額	当該年度末までの 支払義務発生 予定額	翌年度以降の 支払義務発生 予定額	継続費の 総額に対する進捗 率	備考
			年度	年割額	左 の 財 源 内 訳										
					企業債	国 庫 補助金	その他	損益勘定 留保資金 等							
1 資本的支出	1 建設改良費	新屋第2配水場整備事業	3	千円 306,900	千円 118,600	千円 70,010	千円 76,725	千円 41,565	千円 -	千円 306,900	千円 -	千円 306,900	千円 -	% 39.9	
			4	463,210	24,200	315,045	115,790	8,175	-	-	463,210	463,210	-	60.1	
			計	770,110	142,800	385,055	192,515	49,740	-	306,900	463,210	770,110	-	100.0	

令和3年度富士吉田市水道事業予定損益計算書（前年度分）

（令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで）

（単位：千円）

1 営 業 収 益

(1) 給 水 収 益	519,856	
(2) そ の 他 営 業 収 益	24,272	544,128

2 営 業 費 用

(1) 原 水 及 び 浄 水 費	78,670	
(2) 配 水 及 び 給 水 費	47,989	
(3) 受 託 工 事 費	8,398	
(4) 総 係 費	61,350	
(5) 減 価 償 却 費	393,733	
(6) 資 産 減 耗 費	10,150	
(7) そ の 他 営 業 費	449	600,739

営 業 損 失		56,611
---------	--	--------

3 営 業 外 収 益

(1) 受 取 利 息	6	
(2) 他 会 計 補 助 金	4,370	
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	171,401	
(4) 雑 収 益	103	175,880

4 営 業 外 費 用

(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	46,794		
(2) 雑 支 出	2,052	48,846	127,034

5 予 備 費

(1) 予 備 費	0	0	0
経 常 利 益			70,423

6 特 別 利 益

(1) 固 定 資 産 売 却 益	0	0
-------------------	---	---

7 特 別 損 失

(1) 固 定 資 産 売 却 損	0	0	0
当 年 度 純 利 益			70,423
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金			36
その他の未処分利益剰余金変動額			100,000
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金			170,459

令和3年度富士吉田市水道事業予定貸借対照表（前年度分）

（令和4年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		451,613,318	
ロ 建 物	309,760,242		
減価償却累計額	△ 111,506,792	198,253,450	
ハ 構 築 物	13,700,652,651		
減価償却累計額	△ 5,904,409,533	7,796,243,118	
ニ 機 械 及 び 装 置	2,245,806,358		
減価償却累計額	△ 1,301,288,668	944,517,690	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	8,125,838		
減価償却累計額	△ 7,719,545	406,293	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	10,903,009		
減価償却累計額	△ 10,019,518	883,491	
ト 建 設 仮 勘 定		329,423,430	
有形固定資産合計			9,721,340,790

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権		89,300	
無形固定資産合計			89,300
固定資産合計			9,721,430,090

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

336, 603, 265

(2) 未 収 金

448, 482, 984

貸 倒 引 当 金

△ 8, 311, 155

440, 171, 829

(3) 貯 蔵 品

7, 313, 086

流 動 資 産 合 計

784, 088, 180

資 産 合 計

10, 505, 518, 270

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

3, 157, 958, 852

(2) 引 当 金

イ 退 職 給 付 引 当 金

100, 650, 249

ロ 修 繕 引 当 金

70, 829, 746

引 当 金 合 計

171, 479, 995

固 定 負 債 合 計

3, 329, 438, 847

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

173, 128, 077

(2) 未 払 金

18, 740, 158

(3) 引 当 金

イ 賞 与 引 当 金

3, 848, 000

ロ 法 定 福 利 費 引 当 金

746, 000

引 当 金 合 計

4, 594, 000

流 動 負 債 合 計

196, 462, 235

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

7, 268, 167, 657

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 2, 886, 450, 840

繰 延 収 益 合 計

4, 381, 716, 817

負 債 合 計

7, 907, 617, 899

資 本 の 部

6 資 本 金

(1) 資 本 金

イ 固 有 資 本 金

288, 893, 474

ロ 組 入 資 本 金

1, 428, 887, 100

ハ 繰 入 資 本 金

283, 136, 860

資 本 金

2, 000, 917, 434

資 本 金 合 計

2, 000, 917, 434

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 受 贈 財 産 評 価 額

58, 533, 067

ロ 工 事 負 担 金

25, 670, 172

ハ 補 助 金

71, 120, 740

資 本 剰 余 金 合 計

155, 323, 979

(2) 利 益 剰 余 金

イ 減 債 積 立 金

40,700,000

ロ 建 設 改 良 積 立 金

230,500,000

ハ 当年度未処分利益剰余金

170,458,958

利 益 剰 余 金 合 計

441,658,958

剰 余 金 合 計

596,982,937

資 本 合 計

2,597,900,371

負 債 資 本 合 計

10,505,518,270

令和4年度富士吉田市水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和5年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部			
1 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地		451,613,318	
ロ 建 物	345,954,929		
減 価 償 却 累 計 額	△ 116,824,730	229,130,199	
ハ 構 築 物	14,719,797,199		
減 価 償 却 累 計 額	△ 6,206,565,588	8,513,231,611	
ニ 機 械 及 び 装 置	2,386,853,840		
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,395,814,675	991,039,165	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	8,125,838		
減 価 償 却 累 計 額	△ 7,719,545	406,293	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	10,903,009		
減 価 償 却 累 計 額	△ 10,019,518	883,491	
ト 建 設 仮 勘 定		55,770,898	
有 形 固 定 資 産 合 計			10,242,074,975
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権		89,300	
無 形 固 定 資 産 合 計			89,300
固 定 資 産 合 計			10,242,164,275

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

103, 512, 207

(2) 未 収 金

726, 417, 179

貸 倒 引 当 金

△ 8, 111, 155

718, 306, 024

(3) 貯 蔵 品

7, 163, 086

流 動 資 産 合 計

828, 981, 317

資 産 合 計

11, 071, 145, 592

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

3, 177, 313, 181

(2) 引 当 金

イ 退 職 給 付 引 当 金

100, 368, 285

ロ 修 繕 引 当 金

70, 829, 746

引 当 金 合 計

171, 198, 031

固 定 負 債 合 計

3, 348, 511, 212

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

165, 645, 671

(2) 未 払 金

108, 872, 000

(3) 引 当 金

イ 賞 与 引 当 金

3, 930, 000

ロ 法 定 福 利 費 引 当 金

766, 000

引 当 金 合 計

4, 696, 000

流 動 負 債 合 計

279, 213, 671

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

7,890,801,751

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 3,065,450,840

繰 延 収 益 合 計

4,825,350,911

負 債 合 計

8,453,075,794

資 本 の 部

6 資 本 金

(1) 資 本 金

イ 固 有 資 本 金

288,893,474

ロ 組 入 資 本 金

1,428,887,100

ハ 繰 入 資 本 金

292,169,299

資 本 金

2,009,949,873

資 本 金 合 計

2,009,949,873

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 受 贈 財 産 評 価 額

58,533,067

ロ 工 事 負 担 金

25,670,172

ハ 補 助 金

71,120,740

資 本 剰 余 金 合 計

155,323,979

(2) 利 益 剰 余 金

イ 減 債 積 立 金

40,700,000

ロ 建 設 改 良 積 立 金

80,500,000

ハ 当年度未処分利益剰余金

331,595,946

利 益 剰 余 金 合 計

452,795,946

剰 余 金 合 計

608,119,925

資 本 合 計

2,618,069,798

負 債 資 本 合 計

11,071,145,592

注記事項

I 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法（減損会計に係るものを除く。）

たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く。）

イ 減価償却の方法 定額法

ロ 主な耐用年数

建物 7 ～ 6 5 年

構築物 3 0 ～ 6 0 年

機械及び装置 8 ～ 3 0 年

車両運搬具 4 ～ 5 年

工具、器具及び備品 2 ～ 1 0 年

3 引当金の計上方法

（1）退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

なお、一般会計が負担すると見込まれる金額を除き、水道事業会計が負担すると見込まれる金額を計上している。

（2）賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、155,898千円である。

2 引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金

令和4年度において、退職手当の要支給額は退職給付引当金を使用する。

(2) 貸倒引当金

令和4年度において、不納欠損による損失に充てるため貸倒引当金を使用する。

(3) 賞与引当金

令和4年度において、期末・勤勉手当として支給するため賞与引当金を使用する。

(4) 法定福利費引当金

令和4年度において、期末・勤勉手当に係る法定福利費を支出するため法定福利費引当金を使用する。

Ⅲ その他の注記

新会計基準移行に係る経過措置

修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

下水道事業会計予算説明書

令和4年度富士吉田市下水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下水道事業収益			861,473	
	1 営業収益		270,057	
		1 下水道使用料	269,500	
		2 その他の営業収益	557	排水設備工事の検査手数料等
	2 営業外収益		591,415	
		1 受取利息及び配当金	5	普通預金利息
		2 他会計負担金	424,277	一般会計からの負担金
		3 長期前受金戻入	147,156	
		4 雑 収 益	19,977	消費税及び地方消費税還付金
	3 特別利益		1	
		1 過年度損益修正益	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下 水 道 事 業 費 用			836,476	
	1 営 業 費 用		768,115	
		1 管 渠 費	21,042	管渠の維持管理に要する費用
		2 総 係 費	14,152	事業活動の全般に関連する費用
		3 業 務 費	15,102	下水道使用料徴収事務に要する費用
		4 普 及 促 進 費	2,099	水洗化普及促進対策等に要する費用
		5 流域下水道維持管理費 負担金	218,990	流域下水道の維持管理に要する負担金
		6 減 価 償 却 費	496,730	固定資産の減価償却費

	2 営 業 外 費 用		64,360	
		1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	64,160	企業債利子
		2 雑 支 出	200	
	3 特 別 損 失		1	
		1 過 年 度 損 益 修 正 損	1	
	4 予 備 費		4,000	
		1 予 備 費	4,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			583,906	
	1 企 業 債		298,600	
		1 公 共 下 水 道 事 業 債	203,600	
		2 流 域 下 水 道 事 業 債	63,000	
		3 特 別 措 置 分	32,000	
	2 補 助 金		168,300	
		1 国 庫 補 助 金	168,300	
	3 負 担 金 等		117,006	
		1 他 会 計 負 担 金	116,206	一般会計からの負担金
		2 工 事 負 担 金	800	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			941,362	
	1 建 設 改 良 費		512,449	
		1 建 設 改 良 費	439,722	管渠の布設工事等に要する費用
		2 負 担 金	72,727	流域下水道建設負担金
	2 企 業 債 償 還 金		428,913	
		1 企 業 債 償 還 金	428,913	企業債の元金償還金

令和4年度富士吉田市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	10
減価償却費	496,730
引当金の増減額（△は減少）	3,768
長期前受金戻入額	△ 147,156
受取利息	△ 5
支払利息	64,160
未収金の増減額（△は増加）	15,615
未払金の増減額（△は減少）	△ 386
小計	<u>432,736</u>
利息の受取額	5
利息の支払額	<u>△ 64,160</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>368,581</u>
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 401,221
無形固定資産の取得による支出	△ 66,115
国庫補助金等による収入	156,487
他会計からの負担金による収入	108,049
工事負担金による収入	671
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 202,129</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	298,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 428,913</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 130,313</u>
資金増加額（又は減少額）	36,139
資金期首残高	39,412
資金期末残高	<u><u>75,551</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

単位：千円

区 分	職員数 (人)	給 与 費				法定福利費	合 計
		報 酬	給 料	手 当 等	計		
本 年 度	4	0	17,193	13,488	30,681	5,914	36,595
前 年 度	4	0	17,342	14,866	32,208	5,787	37,995
比 較	0	0	△ 149	△ 1,378	△ 1,527	127	△ 1,400

単位：千円

手当等の 内 訳	区 分	扶養手当	管理職手当	通勤手当	時間外勤務手当	住居手当	期末勤勉手当	寒冷地手当	退職手当	児童手当
	本 年 度	240	748	75	3,771	336	7,068	228	1,022	0
	前 年 度	618	748	161	3,816	0	7,433	214	1,756	120
	比 較	△ 378	0	△ 86	△ 45	336	△ 365	14	△ 734	△ 120

2 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 事 由 別 内 訳		説 明	備 考
給 料	千円 △ 149	1	昇給に伴う増減分	千円 52	平均昇給率 1.32% 昇給職員数 4人 (うち増額となった職員数 4人)
		2	その他の増減分	新陳代謝等による増減分 △ 201	新陳代謝等 職員数の異動状況 (現に在職する職員数) (その他) (計) 本年度 4人 0人 4人 前年度 4人 0人 4人 増 減 0人 0人 0人
職員手当	△ 1,378	1	その他の増減分	△ 1,378	新陳代謝等

3 給料及び職員手当の状況

(1) 職員1人当たりの給与

区 分		事 務 技 術 職
令和4年1月1日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	325,275
	平 均 給 与 月 額 (円)	365,790
	平 均 年 齢 (歳)	40.50
令和3年1月1日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	355,775
	平 均 給 与 月 額 (円)	424,386
	平 均 年 齢 (歳)	46.75

(2) 初 任 給

区 分	事 務 技 術 職 (円)	一 般 会 計 の 制 度
		一 般 行 政 職 (円)
高 校 卒	150,600	150,600
大 学 卒	182,200	182,200

(3) 級 別 職 員 数

区 分	事 務 技 術 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)
令和4年1月1日現在	7 級		0.0
	6 級	1	25.0
	5 級		0.0
	4 級	2	50.0
	3 級	1	25.0
	2 級		0.0
	1 級		0.0
	計	4	100.0
令和3年1月1日現在	7 級		0.0
	6 級	1	25.0
	5 級	1	25.0
	4 級	1	25.0
	3 級	1	25.0
	2 級		0.0
	1 級		0.0
	計	4	100.0

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級	3 級	2 級	1 級
事務技術職	部次 長	課 長	課 長 補 佐	主 幹	主 査	主 任	主 事 事 補

(4) 昇 給

区 分			合 計	事務技術職
本 年 度	職 員 数 (A) (人)		4	4
	昇給に係る職員数 (B) (人)		4	4
	号 給 数 別 内 訳	1号給 (人)	0	0
		4号給 (人)	4	4
	比 率 (B) / (A) (%)		100.00	100.00
前 年 度	職 員 数 (A) (人)		4	4
	昇給に係る職員数 (B) (人)		4	4
	号 給 数 別 内 訳	1号給 (人)	1	1
		4号給 (人)	3	3
	比 率 (B) / (A) (%)		100.00	100.00

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計 (月分)	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)		
本 年 度	2.150	2.150	4.300	
前 年 度	2.225	2.225	4.450	
一般会計の制度	2.150	2.150	4.300	

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20 年 勤 続 の 者 (月分)	25 年 勤 続 の 者 (月分)	35 年 勤 続 の 者 (月分)	最 高 限 度 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	

(7) その他の手当

区 分	一 般 会 計 の 制 度 と の 異 同
扶 養 手 当	同 じ
住 居 手 当	同 じ
通 勤 手 当	同 じ

令和3年度富士吉田市下水道事業予定損益計算書（前年度分）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：千円）

1 営業収益			
(1) 下水道使用料	235,482		
(2) その他の営業収益	433	235,915	
2 営業費用			
(1) 管渠費	19,997		
(2) 総係費	14,049		
(3) 業務費	13,428		
(4) 普及促進費	2,009		
(5) 流域下水道維持管理費負担金	210,552		
(6) 減価償却費	489,020	749,055	
営業損失			513,140
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	2		
(2) 他会計負担金	480,720		
(3) 長期前受金戻入	140,737		
(4) 雑収益	20	621,479	

4 営 業 外 費 用

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費

71,590

(2) 雑 支 出

5,155

76,745

544,734

5 予 備 費

(1) 予 備 費

0

0

0

経 常 利 益

31,594

6 特 別 利 益

(1) 固 定 資 産 売 却 益

0

0

7 特 別 損 失

(1) 固 定 資 産 売 却 損

0

0

0

当 年 度 純 利 益

31,594

前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金

30,689

当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金

62,283

令和3年度富士吉田市下水道事業予定貸借対照表（前年度分）

（令和4年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部			
1	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地	5,331,480	
	ロ 構 築 物	12,274,386,542	
	減 価 償 却 累 計 額	△ 795,721,716	11,478,664,826
	ハ 機 械 及 び 装 置	43,232,848	
	減 価 償 却 累 計 額	△ 8,139,598	35,093,250
	ニ 車 両 運 搬 具	51,941	
	減 価 償 却 累 計 額	0	51,941
	ホ 建 設 仮 勘 定	433,622	
	有 形 固 定 資 産 合 計		11,519,575,119
	(2) 無 形 固 定 資 産		
	イ 施 設 利 用 権	2,150,522,372	
	無 形 固 定 資 産 合 計		2,150,522,372
	(3) 投 資 そ の 他 資 産		
	イ 出 資 金	1,000,000	
	投 資 そ の 他 資 産 合 計		1,000,000
	固 定 資 産 合 計		13,671,097,491
2	流 動 資 産		
	(1) 現 金 預 金		39,411,531
	(2) 未 収 金	116,441,772	
	未 収 貸 倒 引 当 金	△ 6,909,191	109,532,581

(3) 前 払 金
流動資産合計
資産合計

0

148,944,112

13,820,041,603

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

4,221,829,053

ロ その他企業債

6,125,000

企業債合計

4,227,954,053

(2) 引当金

イ 退職給付引当金

3,459,594

引当金合計

3,459,594

固定負債合計

4,231,413,647

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

428,038,000

ロ その他企業債

875,000

企業債合計

428,913,000

(2) 未払金

2,456,583

(3) 引当金

イ 賞与引当金

2,959,418

引当金合計

2,959,418

(4) そ の 他 流 動 負 債	350,000	
流 動 負 債 合 計		434,679,001
5 繰 延 収 益		
(1) 長 期 前 受 金	4,812,171,149	
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 276,314,852	
繰 延 収 益 合 計		4,535,856,297
負 債 合 計		9,201,948,945

資 本 の 部

6 資 本 金		
(1) 資 本 金		
イ 固 有 資 本 金	4,555,809,664	
資 本 金 合 計		4,555,809,664
7 剰 余 金		
(1) 利 益 剰 余 金		
イ 建 設 改 良 積 立 金	0	
ロ 減 債 積 立 金	0	
ハ 利 益 積 立 金	0	
ニ 当年度未処分利益剰余金	62,282,994	
利 益 剰 余 金 合 計	62,282,994	
剰 余 金 合 計		62,282,994
資 本 合 計		4,618,092,658
負 債 資 本 合 計		13,820,041,603

令和4年度富士吉田市下水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和5年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		5,331,480	
ロ 構 築 物	12,680,516,962		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,202,864,935</u>	11,477,652,027	
ハ 機 械 及 び 装 置	43,232,848		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 11,673,362</u>	31,559,486	
ニ 車 両 運 搬 具	51,941		
減 価 償 却 累 計 額	<u>0</u>	51,941	
ホ 建 設 仮 勘 定		<u>69,985</u>	
有 形 固 定 資 産 合 計			11,514,664,919

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 施 設 利 用 権		<u>2,130,586,258</u>	
無 形 固 定 資 産 合 計			2,130,586,258

(3) 投 資 そ の 他 資 産

イ 出 資 金		<u>1,000,000</u>	
投 資 そ の 他 資 産 合 計			<u>1,000,000</u>
固 定 資 産 合 計			13,646,251,177

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金			75,550,774
(2) 未 収 金		100,669,114	
未 収 貸 倒 引 当 金		<u>△ 9,612,838</u>	91,056,276

(3) 前	払	金	0	
流動資産合計				166,607,050
資産合計				13,812,858,227

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,122,585,053		
ロ その他企業債	5,250,000		
企業債合計		4,127,835,053	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	4,480,288		
引当金合計		4,480,288	
固定負債合計			4,132,315,341

4 流動負債

(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	397,844,000		
ロ その他企業債	875,000		
企業債合計		398,719,000	
(2) 未払金		2,070,366	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金	2,846,606		
引当金合計		2,846,606	

(4) そ の 他 流 動 負 債	350,000	
流 動 負 債 合 計		403,985,972
5 繰 延 収 益		
(1) 長 期 前 受 金	5,081,925,108	
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 423,470,852	
繰 延 収 益 合 計		4,658,454,256
負 債 合 計		9,194,755,569

資 本 の 部

6 資 本 金		
(1) 資 本 金		
イ 固 有 資 本 金	4,555,809,664	
資 本 金 合 計		4,555,809,664
7 剰 余 金		
(1) 利 益 剰 余 金		
イ 建 設 改 良 積 立 金	0	
ロ 減 債 積 立 金	0	
ハ 利 益 積 立 金	0	
ニ 当年度未処分利益剰余金	62,292,994	
利 益 剰 余 金 合 計	62,292,994	
剰 余 金 合 計		62,292,994
資 本 合 計		4,618,102,658
負 債 資 本 合 計		13,812,858,227

注記事項

I 重要な会計方針

地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表を作成している。

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

イ 減価償却の方法	定額法
ロ 主な耐用年数	
構築物	50年
機械及び装置	10年～20年
車両運搬具	4年

(2) 無形固定資産

イ 減価償却の方法	定額法
ロ 主な耐用年数	
施設利用権	50年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

なお、一般会計が負担すると見込まれる金額を除き、下水道事業会計が負担すると見込まれる金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれらの手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

過去3カ年の未収金及び当該未収金に係る不納欠損額の実績をもとに貸倒率（不納欠損額/未収金）を算定し、事業年度末未収金に貸倒率を乗じて算出したものを計上する。

Ⅱ 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、3,407,456千円である。

2 引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金

令和4年度において、退職手当の要支給額は、退職給付引当金を使用する。

(2) 賞与引当金

令和4年度において、期末・勤勉手当の支給及びこれらの手当に係る法定福利費を支出するため、賞与引当金を使用する。

(3) 貸倒引当金

令和4年度において、不納欠損による損失に充てるため、貸倒引当金を使用する。

Ⅲ セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

富士吉田市下水道事業会計は、報告セグメントを単一としている。